

地元産業界等と連携した実践的 PBL を含む授業科目等について
(2022 年度)

<連携している地元産業界等の組織名称>

○上市町

<当該授業等を実施した学部・学科>

○国際観光学科

<科目名>

○富山コミュニティー論

<当該授業を開講する目的>

○上市町と富山福祉短期大学の連携協定による連携協力事項(1.地域産業の振興に関する
こと 2.まちづくりに関すること 3.人材育成に関すること 4.地域福祉の増進に関する
こと)に準じて、上市町としての課題「人口減少」「少子高齢化」の解決策を調査・研究す
る。

<当該授業等の具体的な内容>

○上市町から地域課題とその解決策についてのレクチャーを受け、学生が主体となり、
上市町担当者と継続的な協議を行い、地域課題解決に資する事業プランを提案する。

※別紙参照

令和4年度 富山コミュニティ論

地域課題の解決に向けて



上市町企画課

地域課題の解決に向けて

《 講義内容 》

- 1 上市町の概要
- 2 将来に向けたまちづくりの課題
- 3 第8次上市町総合計画
- 4 おおかみこどもプロジェクト
- 5 人口減少対策の取組
- 6 富山コミュニティー論での取組

1 上市町の概要

1 上市町の概要

(1) 位置と地形

■ 位置



■ 地形



- ・平野部は田園地帯
- ・人口の約8割が集積

- ・面積の約8割は山林
- ・2千m超の山々を取り囲む

アメダス 上市気象観測所(東種)

平野部での天気(気温や降雪量)と天気予報との乖離に注意！

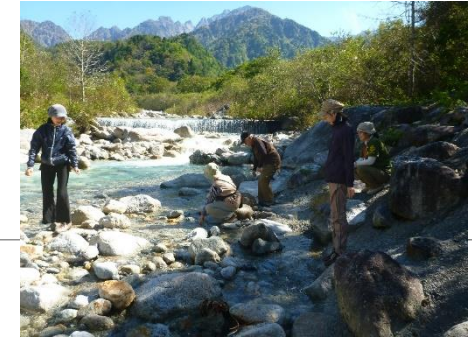
1 上市町の概要

(2) 町の特徴

コンパクトな街の暮らしと自然の恵みのいいところ取りをした住みやすい町

【上市町のここがいい！】

- ① 便利な生活
- ② 劔岳が育んだ豊かな自然
- ③ 経済的な負担が少ない
- ④ 安心して子育てできる



① まちなか交流プラザ(カミール)



② こどもの城



③ あさひの郷公園



大人気！
ふわふわドーム

1 上市町の概要

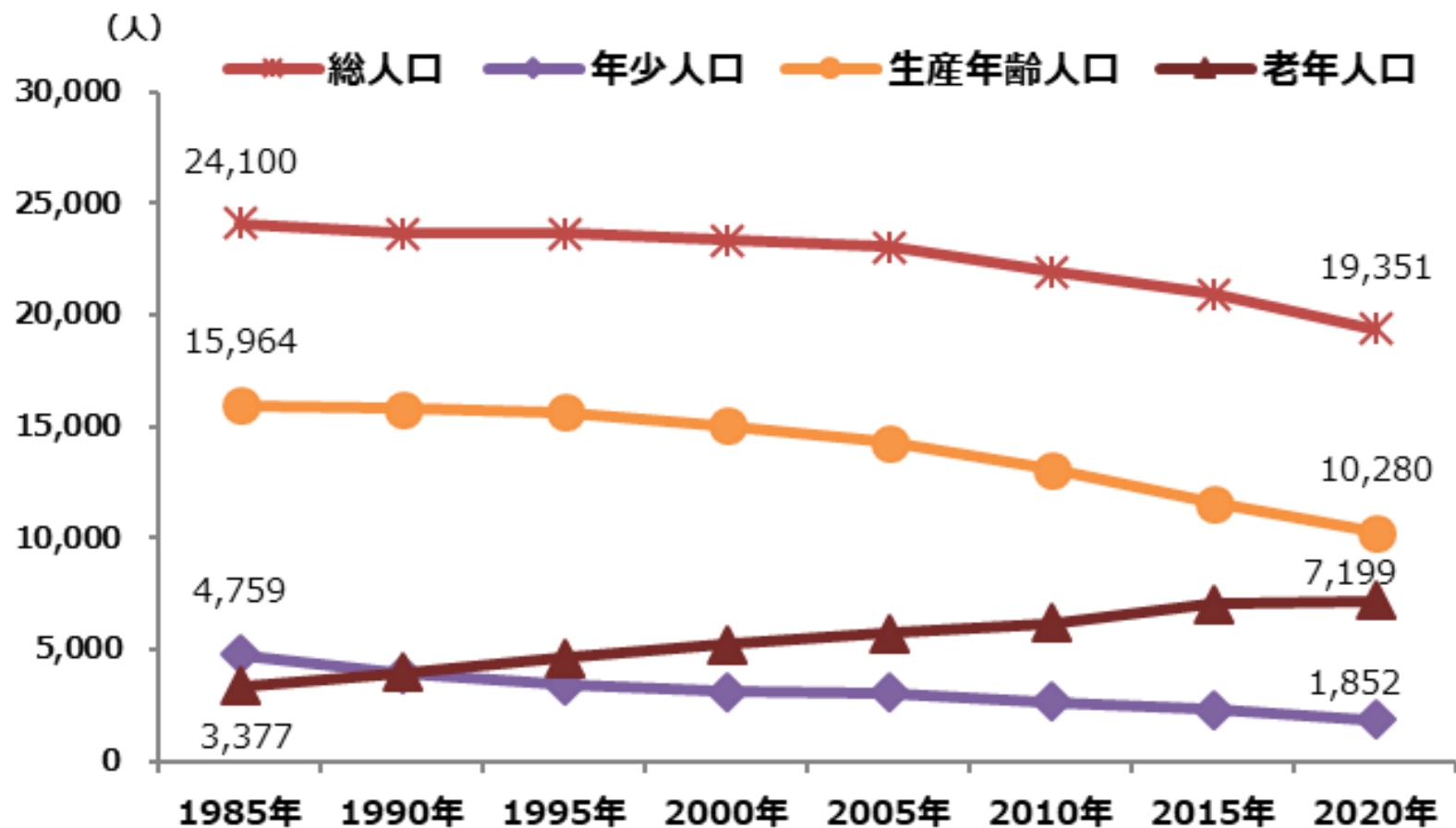
(3) 特産品、イベント



2 将来に向けたまちづくりの課題

2 将来に向けたまちづくりの課題

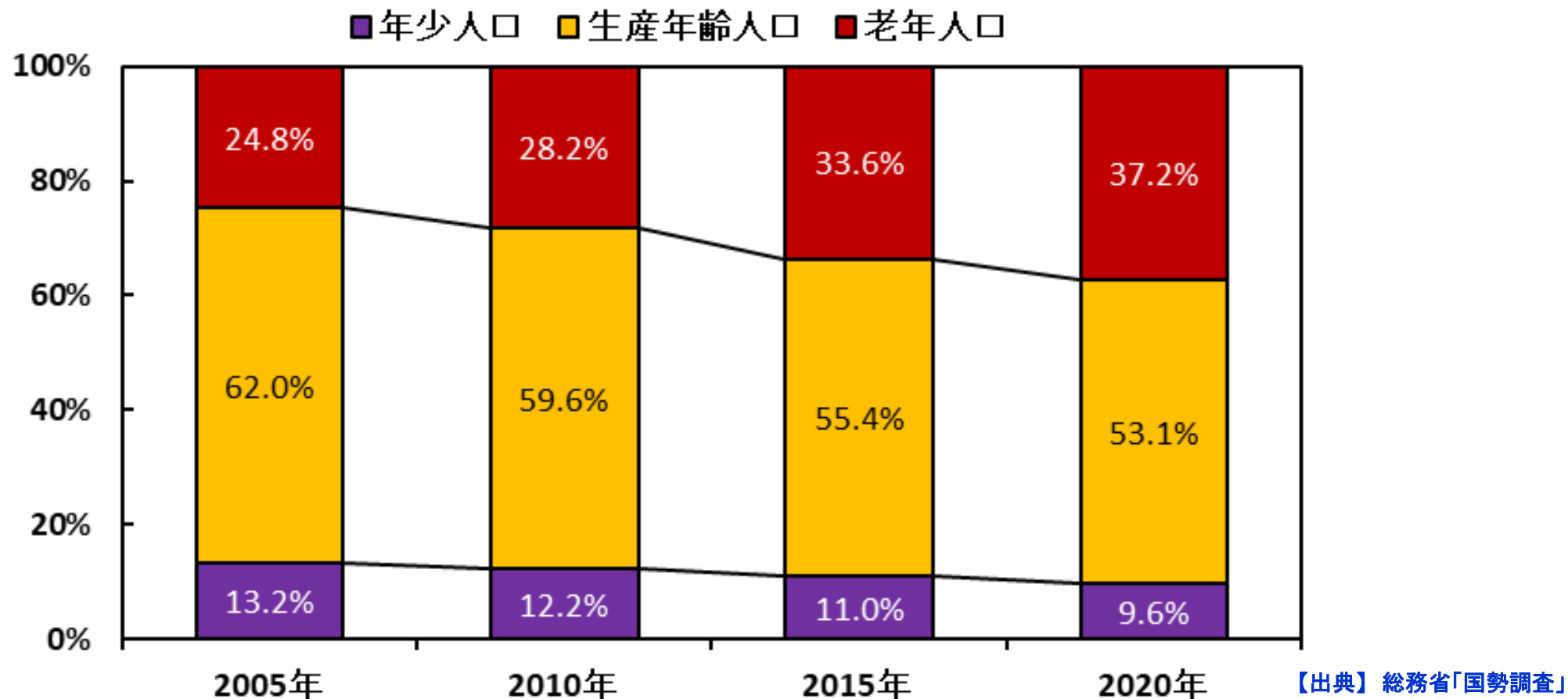
(1) 人口の推移



【出典】総務省「国勢調査」

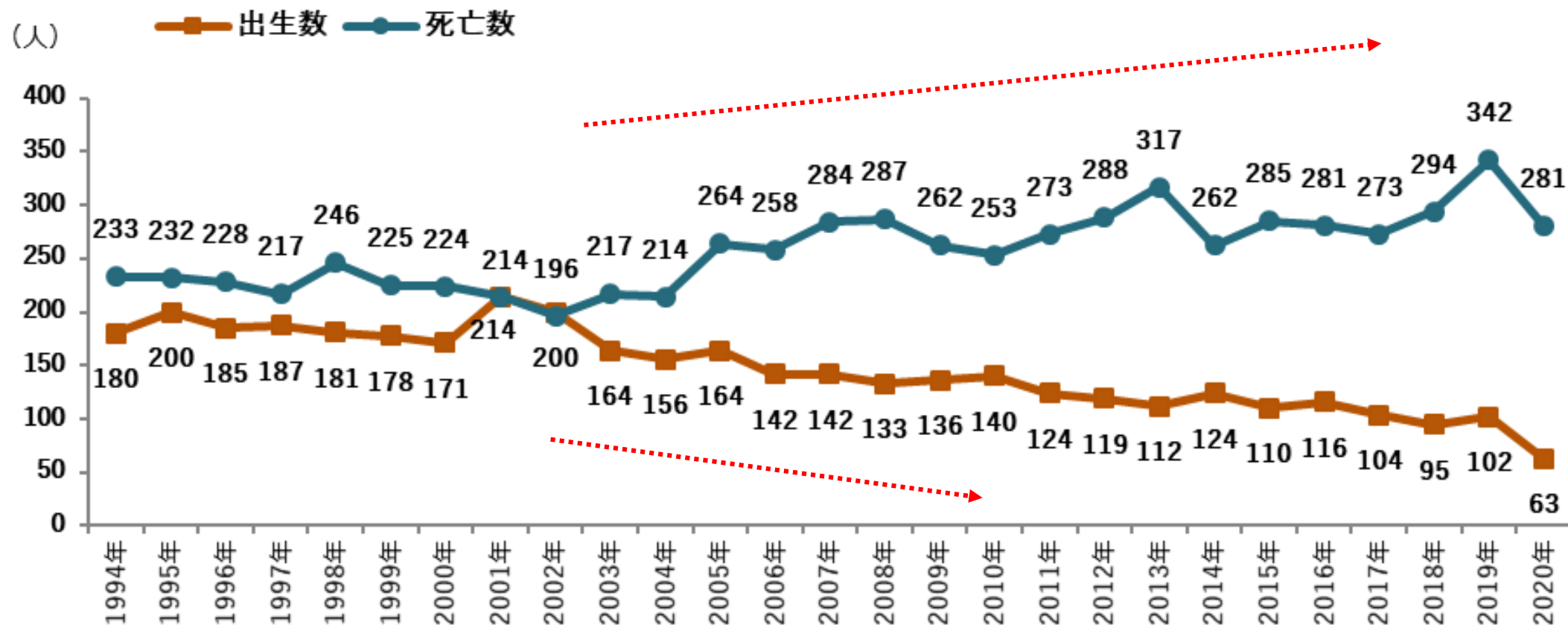
2 将来に向けたまちづくりの課題

(2) 年齢3区分別人口割合の推移



2 将来に向けたまちづくりの課題

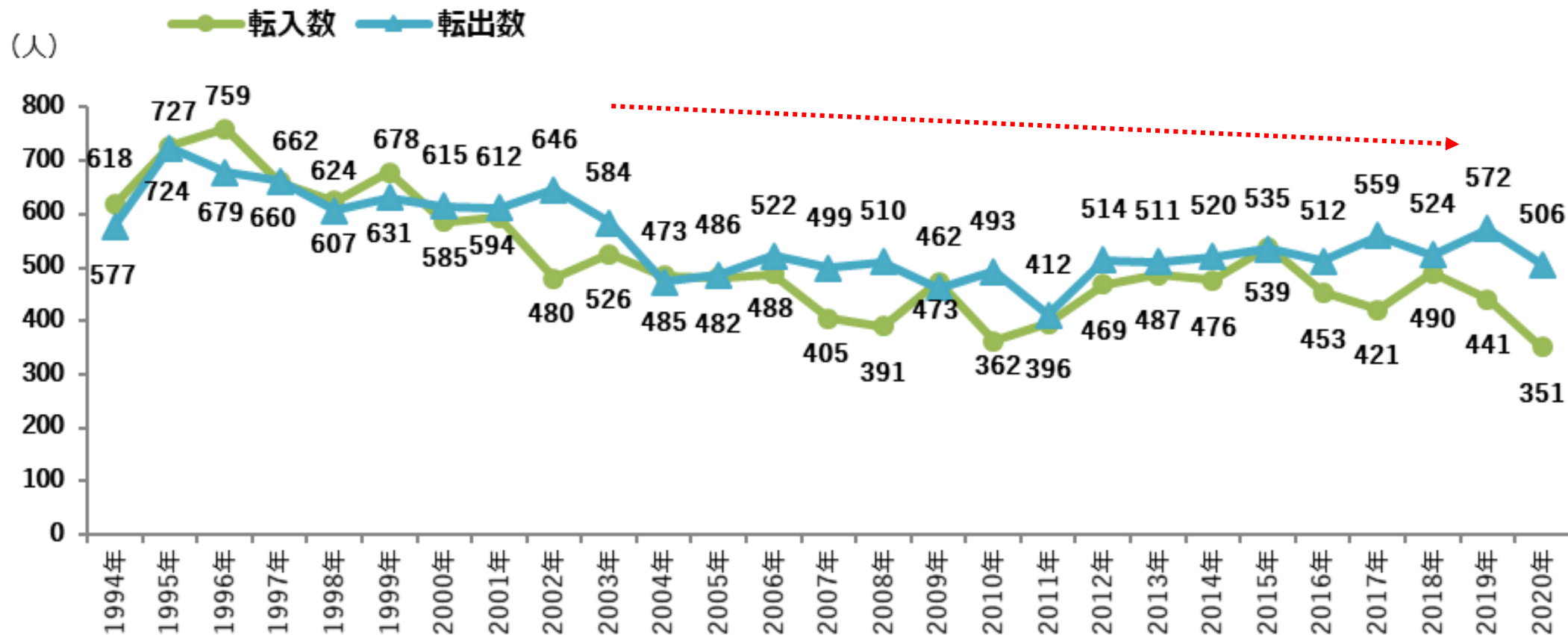
(3) 自然動態の推移



【出典】厚生労働省「人口動態調査」

2 将来に向けたまちづくりの課題

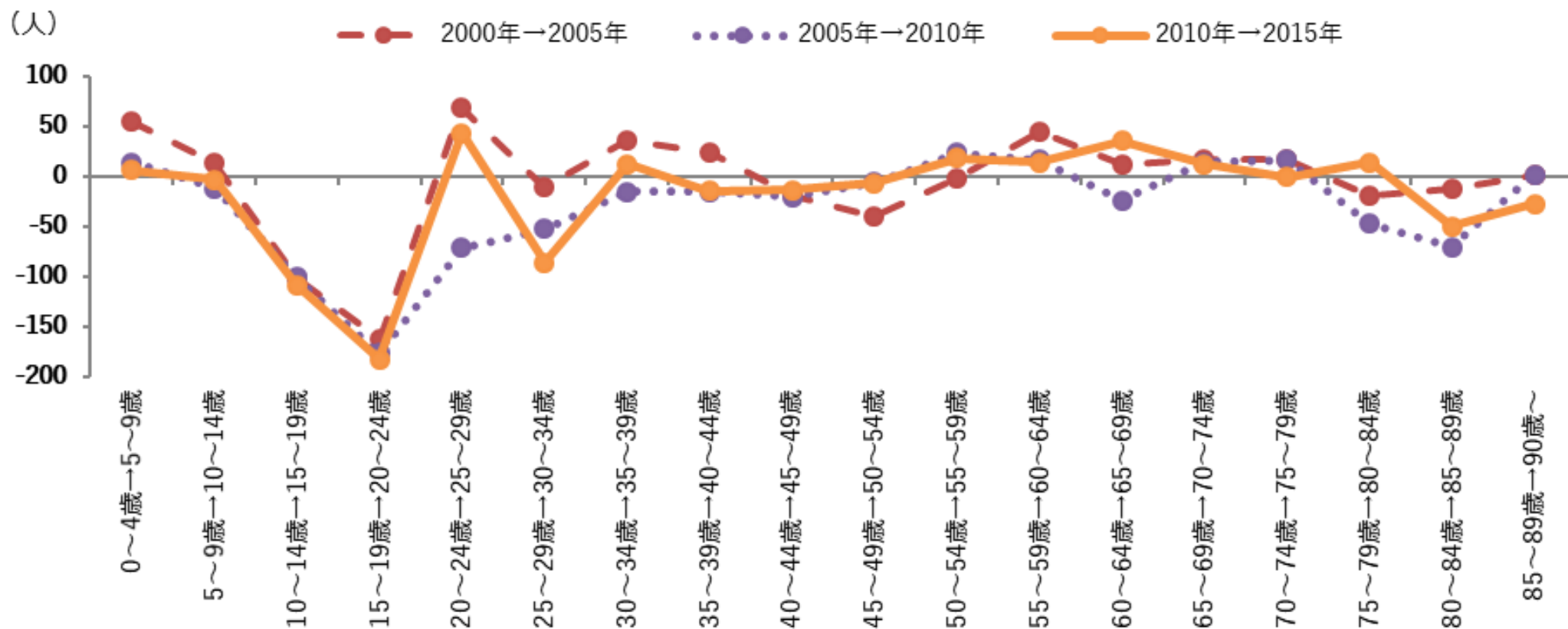
(4) 社会動態の推移



【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

2 将来に向けたまちづくりの課題

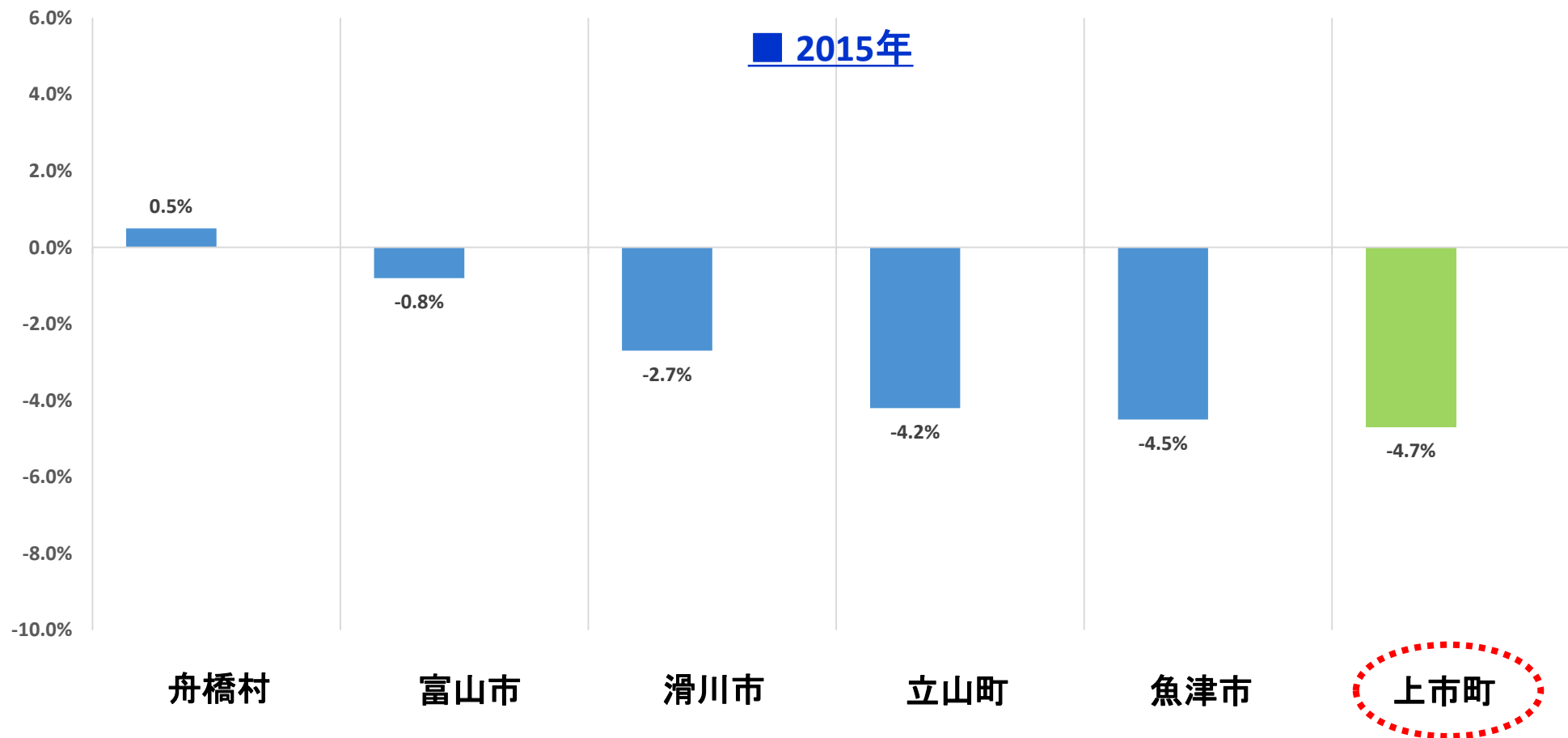
(5) 5歳階級別社会増減の推移



【出典】総務省「国勢調査」に基づく推計値

2 将来に向けたまちづくりの課題

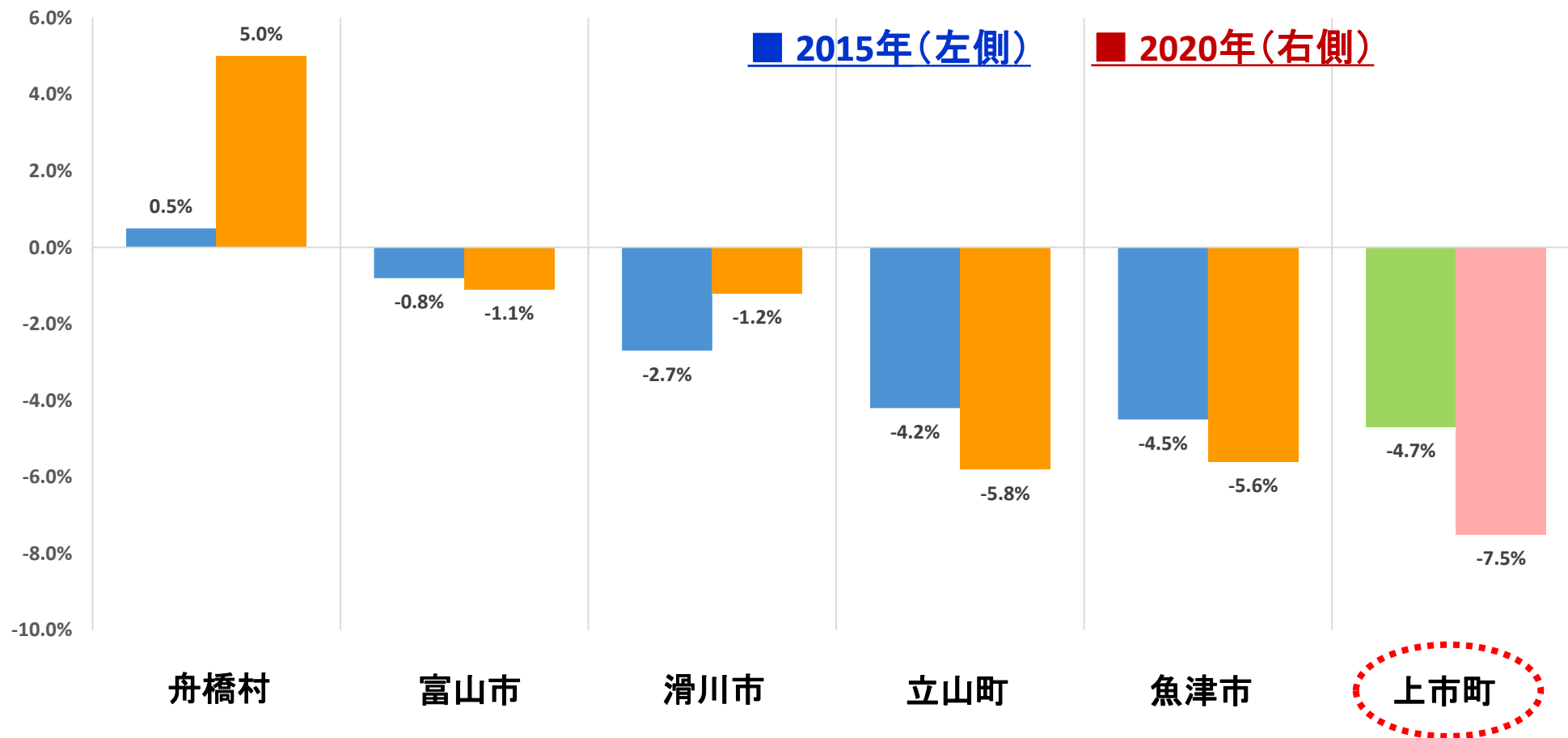
(6) 人口増減率の近隣市町村との比較



【出典】総務省「国勢調査」

2 将来に向けたまちづくりの課題

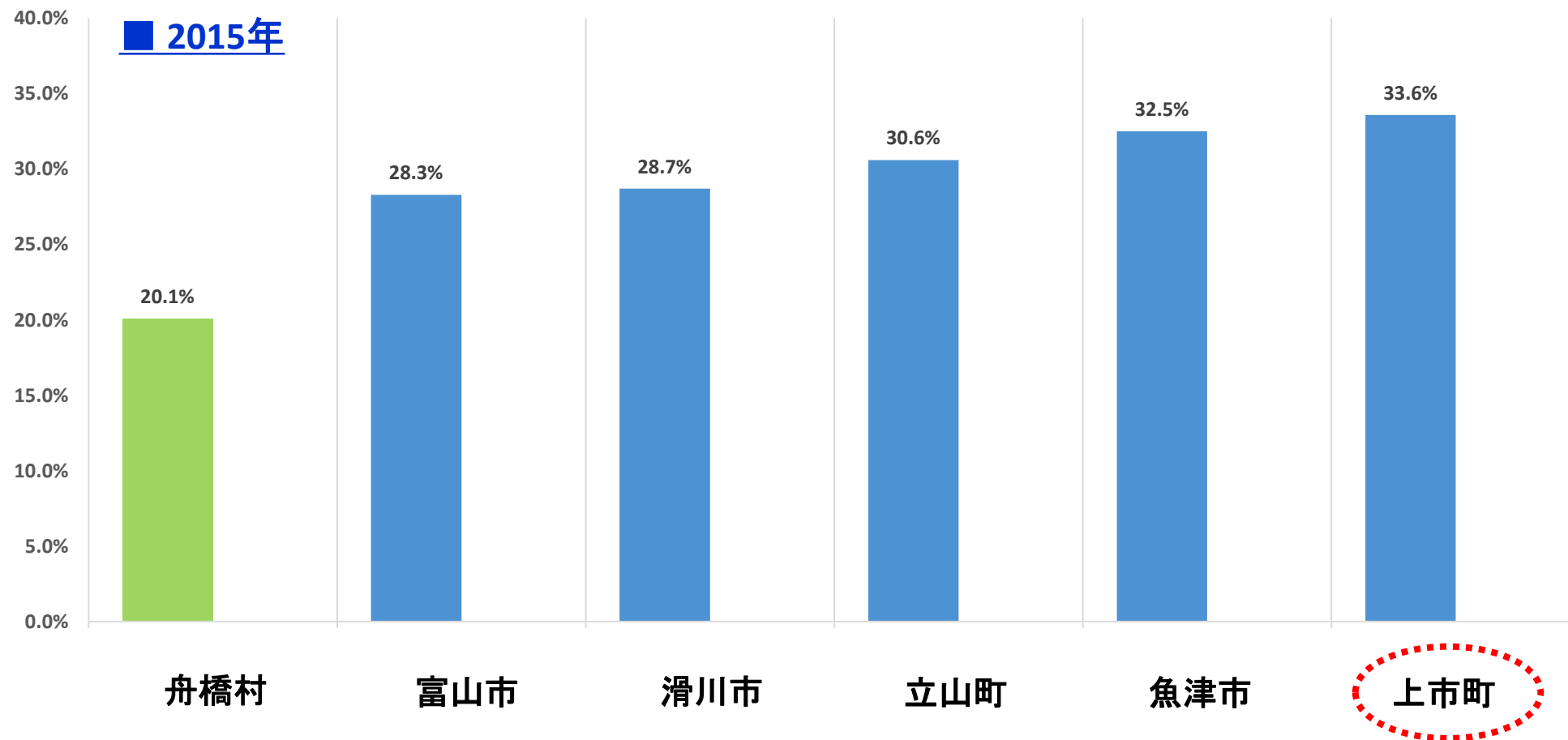
(6) 人口増減率の近隣市町村との比較



【出典】 総務省「国勢調査」

2 将来に向けたまちづくりの課題

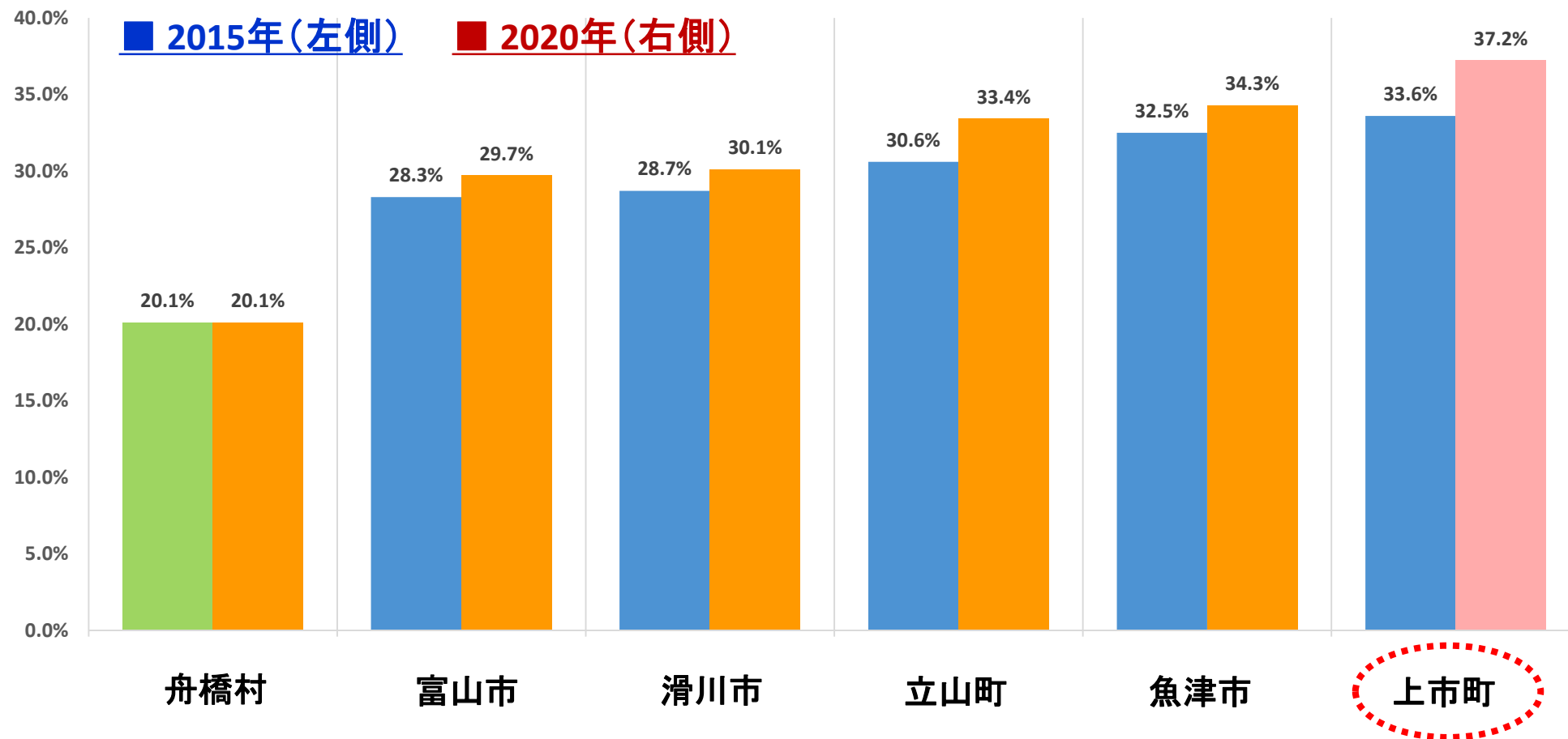
(7) 高齢化率の近隣市町村との比較



【出典】総務省「国勢調査」

2 将来に向けたまちづくりの課題

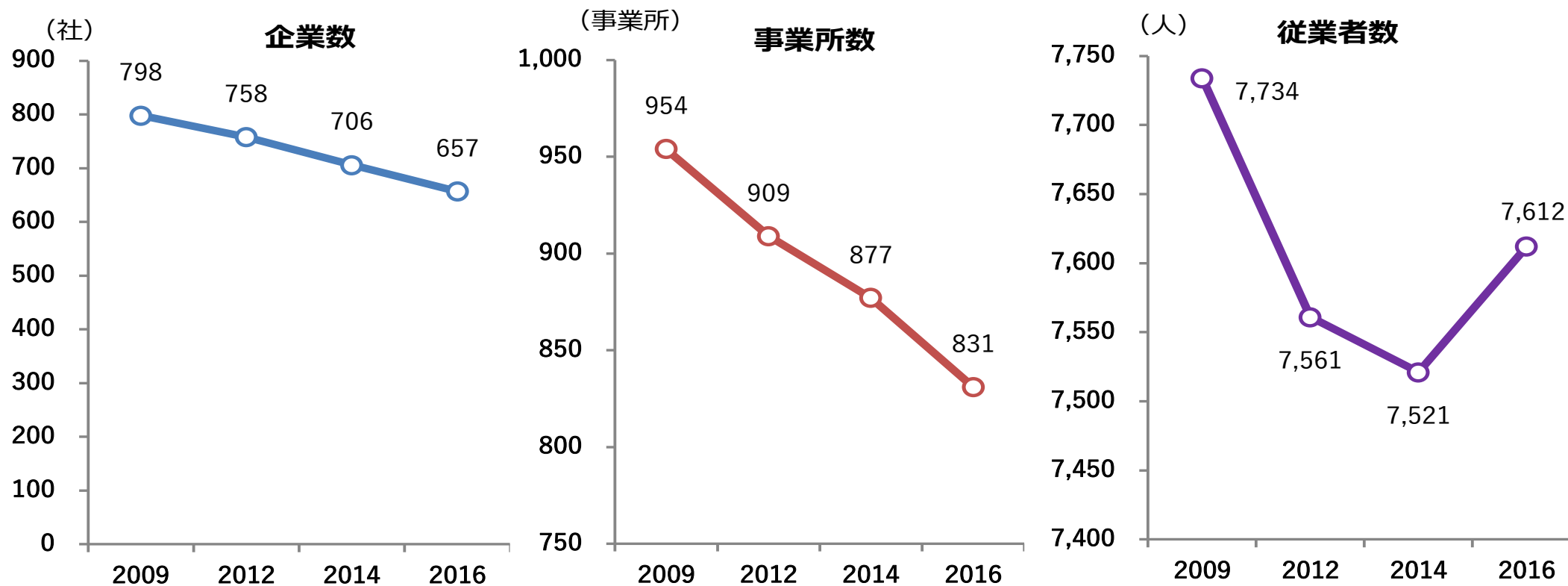
(7) 高齢化率の近隣市町村との比較



【出典】総務省「国勢調査」

2 将来に向けたまちづくりの課題

(8) 事業所数・従業員数の推移



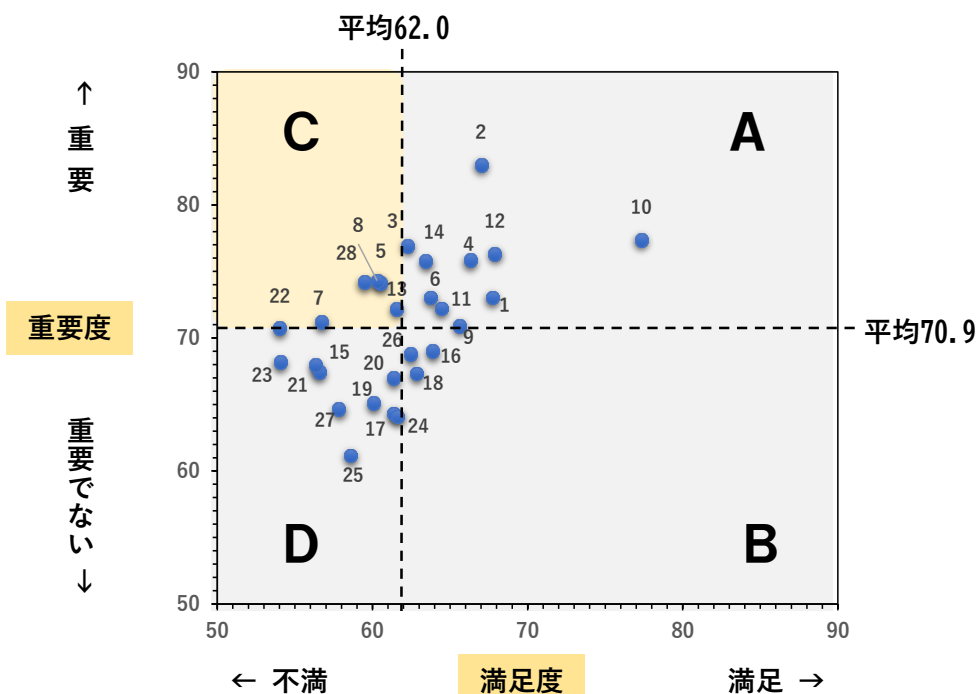
【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」(再編加工)、「経済センサス活動調査」(再編加工)

2 将来に向けたまちづくりの課題

(9) 町民意識調査

■ 重要度と満足度の相関図

満足度と重要度において、不満(重要でない)＝1点、やや不満(あまり重要でない)＝2点、どちらでもない＝3点、やや満足(やや重要)＝4点、満足(重要)＝5点、不明・無回答＝0点として、各回答割合を点数換算し、500点(5点×100%)中の得点率を計算したもの。(各選択肢×回答割合の合計／500)



C 重要度は高く、満足度は低い施策(5項目)

施策	満足度	重要度
5 子育て	60.5	74.1
7 公園・道路整備	56.7	71.2
8 公共交通	60.3	74.3
13 交通安全	61.5	72.2
28 行政運営	59.5	74.2

【出典】2020年町民意識調査

2 将来に向けたまちづくりの課題

(10) 課題のまとめ

- ① 少子化や若年層の流出への対策
- ② 超高齢社会への対応
- ③ 雇用の創出や地域活性化に向けた取組
- ④ 安全・安心な地域社会づくり
- ⑤ まちの基盤整備と維持の推進
- ⑥ 誰もが住みやすい環境づくり

3 第8次上市町総合計画

3 第8次上市町総合計画

(1) 計画の方針

① SDGs (Sustainable Development Goals)の推進

国連サミットで採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ」に記載された持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている2016年から2030年までの国際目標。



3 第8次上市町総合計画

(1) 計画の方針

② 上市スマートインターチェンジの効果を最大限に発揮する取組み

産業活動支援

工業団地や周辺立地企業から、一般道の渋滞を回避し、高速道路へ最短距離でのアクセスが可能となり、更なる企業誘致の促進、雇用の増大など産業活動の活性化が期待される。

高速道路へのアクセス向上

上市町等から北陸自動車道へアクセス性が向上し、新たな通勤圏の拡大などが期待される。

【効果例】 上市SIC周辺における新たなIC10分圏域人口の増加
(立山IC～滑川IC間) 整備前:約5万人 ⇒ 整備後:約6万人 **約1万人増加**

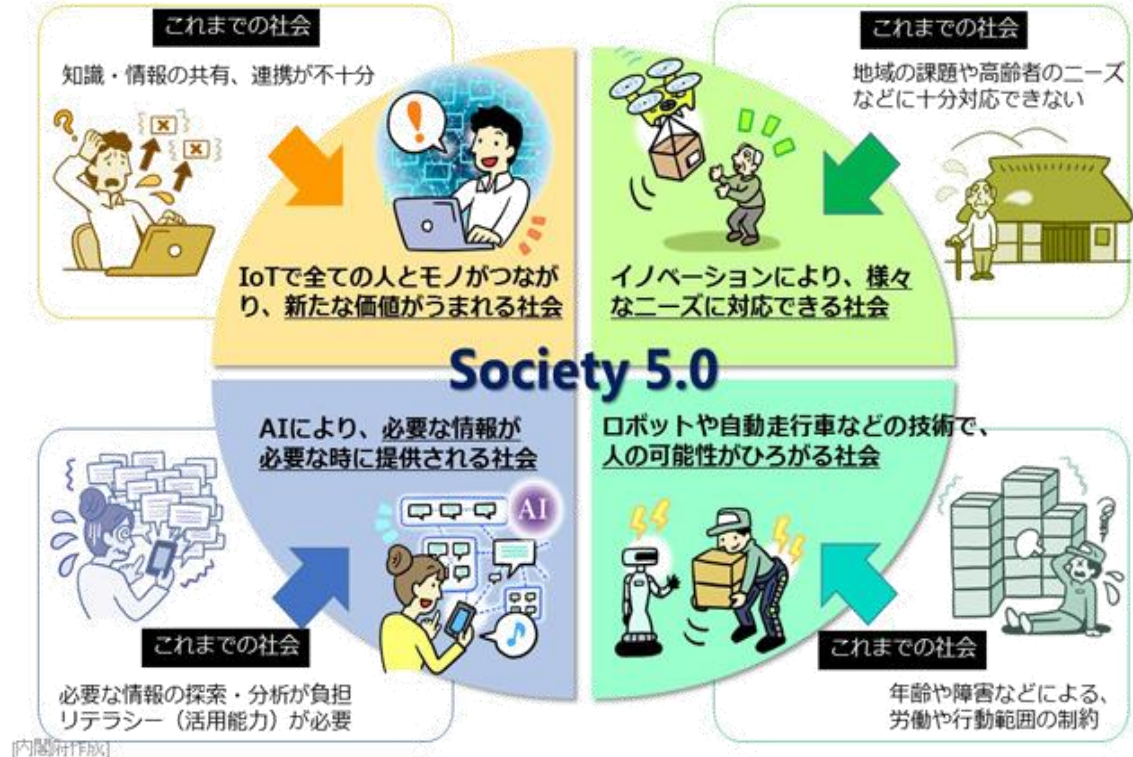


3 第8次上市町総合計画

(1) 計画の方針

③ Society5.0の実現に向けたIoT・AI、5G等未来技術の活用

IoT・AI等情報通信技術をはじめとする未来技術により、少子高齢化や人口減少の課題の最前線にある地方の利便性や生産性を向上させ、地域を豊かにし、魅力を高め、人を呼ぶ好循環を生み出す。



3 第8次上市町総合計画

(2) まちの将来像

つながる にぎわう ささえあう

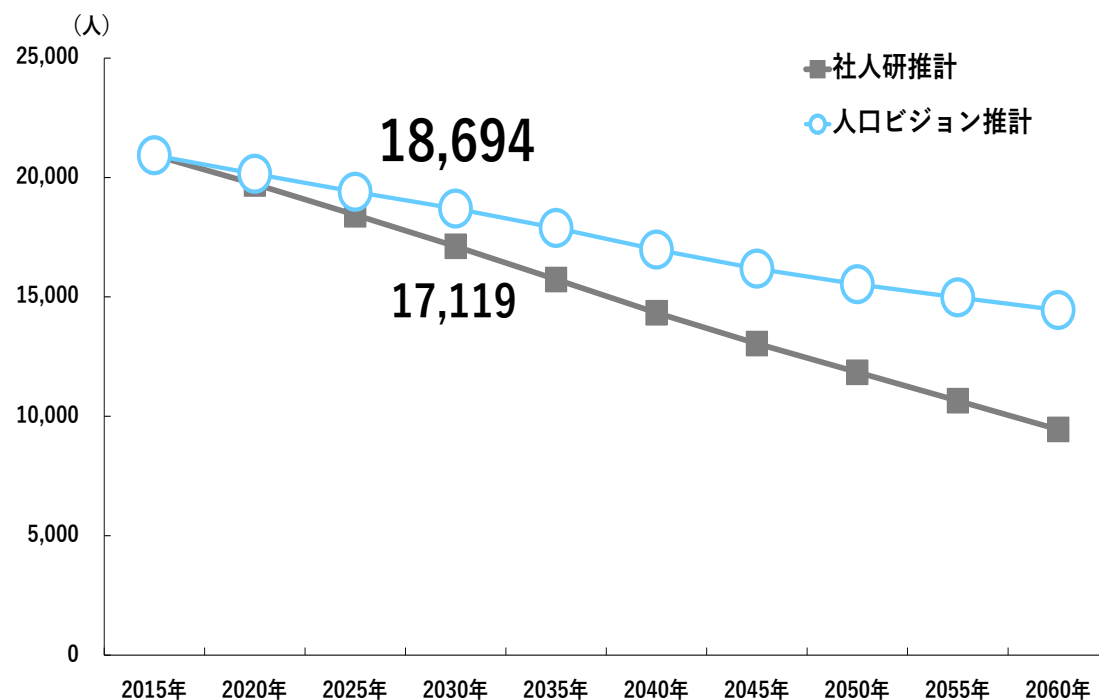
すべては 私 と ミライ のために

みんなが主役のまち 上市

3 第8次上市町総合計画

(3) 目標人口

■ 人口ビジョンにおける人口推計



【出典】 人口ビジョン(令和2(2020)年度)を元に作成

令和12(2030)年度
18,700人

※ 推計での仮定条件

- ・出生率は令和12(2030)年までに県民希望出生率1.9まで上昇
- ・令和22(2040)年には人口置換水準2.07まで上昇
- ・社会移動も回復(転入と転出の差が0)

3 第8次上市町総合計画

(4) 基本目標・政策

1 つながる上市 ～幸せでわくわくのミライへ“つながる”子育て・教育～

政策1 子育て

・子育て支援の充実 ・すべての子育て世帯を地域で支える環境の整備

政策2 教育・文化

・学校教育の充実 ・生涯学習の振興 ・スポーツの振興 ・地域文化の振興 ・多様性を尊重した社会づくりの推進

2 にぎわう上市 ～変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤～

政策1 産業

・農林業の振興 ・商工業の振興 ・観光・交流の拡充

政策2 基盤整備

・移住・定住支援の強化 ・生活環境の充実 ・交通網の整備・維持・確保 ・環境の保全
・地域情報化・情報と魅力の発信

3 ささえあう上市 ～守るべきものを守り、みんなで“ささえあう”安全・安心な暮らし～

政策1 福祉・健康

・地域福祉の推進 ・健康づくりの推進 ・地域医療の推進

政策2 生活安全

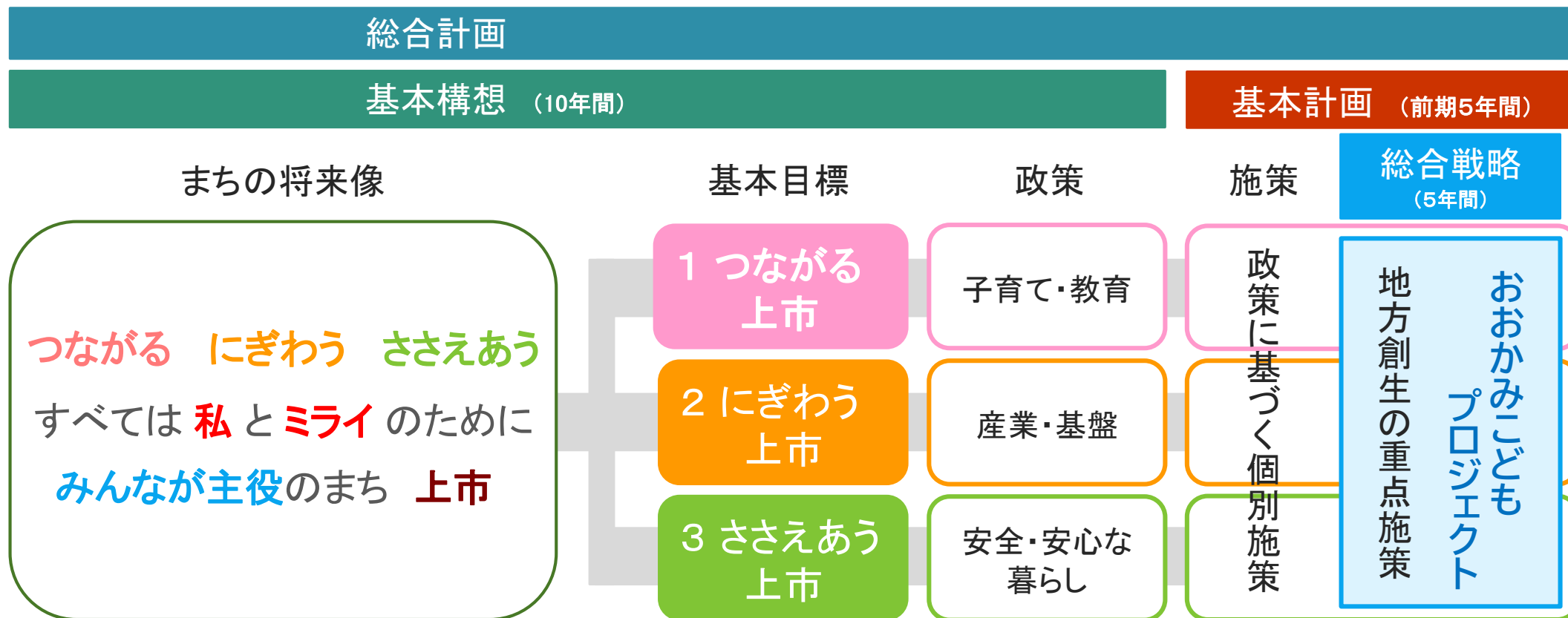
・消防・防災体制の強化 ・防犯・再犯防止・交通安全対策の強化

政策3 行財政運営

・協働のまちづくりの推進 ・行財政運営の推進

3 第8次上市町総合計画

(5) 体系図



第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略

4 おおかみこどもプロジェクト

4 おおかみこどもプロジェクト



©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会

上市町出身の細田守監督のアニメーション作品「おおかみこどもの雨と雪」では、のびのびと子育てできる環境を求め、主人公の花が子どもたちと都会から地方の町に移住します。移住先の町では、花の家族を地域みんなが温かく迎え入れ生活をサポートします。花は周りの人たちの助けを借りながら、住む家を見つけ、就職し、2人の子どもを立派に育て上げ、子どもたちはそれぞれの目指す道を歩み始めます。

この花が移住した町のモデルである上市町において、「おおかみこどもの雨と雪」で描かれた生活シーンを本町の目指すべき地方創生のイメージに位置づけ、右の3つを地方創生の方針とし、「おおかみこどもプロジェクト」として戦略を推進します。

1 つながる上市

子育て支援の充実と
地域で活躍する
人を育む

結婚や出産、保育サービス等の子育て環境の充実を図るとともに、豊かな自然からの学びやICTなどを活用した特色ある教育によって、社会に必要とされる人間力と社会性を培い、地域の将来を担うことのできる子どもたちを育みます。

2 にぎわう上市

移住者を受け入れる
ことができる
雇用と住まい

上市町に「住みたい」「やりたい仕事がある」と思える魅力を発信し、剣岳や緑豊かな自然を活かして、交流人口・関係人口の増加策を進めるほか、産業の活性化、住まいと仕事の提供体制及びまちの基盤の充実に取り組みます。

3 ささえあう上市

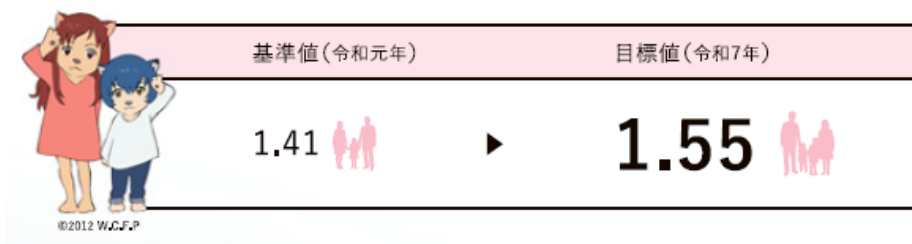
ぬくもり溢れる交流と
ささえあいで
幸せを感じる暮らし

地域に欠かせない資源を守ることで、安全・安心な生活環境を保障し、住み慣れた地域でのつながりを大切に、温かな交流とささえあいの活動の充実などの幸福度向上につながる事業に取り組みます。

4 おおかみこどもプロジェクト

戦略1 つながる上市

数値目標 合計特殊出生率



©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会

【重点施策】

- ア 結婚の希望をかなえ
安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり
- イ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり
- ウ 地域の一員として活躍できる子どもたちを
育むためのインクルーシブ教育の推進
- エ 郷土への誇りと愛着を育て
アイデンティティを醸成する教育の推進

4 おおかみこどもプロジェクト

戦略2 にぎわう上市

数値目標
人口の社会増減



©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会

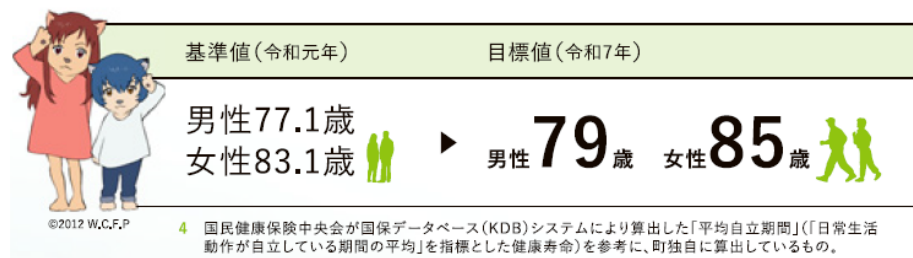
【重点施策】

- ア デジタル技術の活用により
新事業を創出するチャレンジ
- イ 地域資源を活用した観光・交流の促進と新たな
上市ブランドの開発・販路拡大へのチャレンジ
- ウ 担い手育成により地域産業を
ミライへ継承するチャレンジ
- エ 都市からのひと・もの・しごとの流れを生む
魅力ある基盤づくりのチャレンジ

4 おおかみこどもプロジェクト

戦略3 ささえあう上市

数値目標
平均自立期間⁴



©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会

【重点施策】

- ア 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る
- イ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る
- ウ かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る
- エ 地域と密着した活動で上市高校のミライを守る

おおかみこどもプロジェクト



5 人口減少対策の取組例

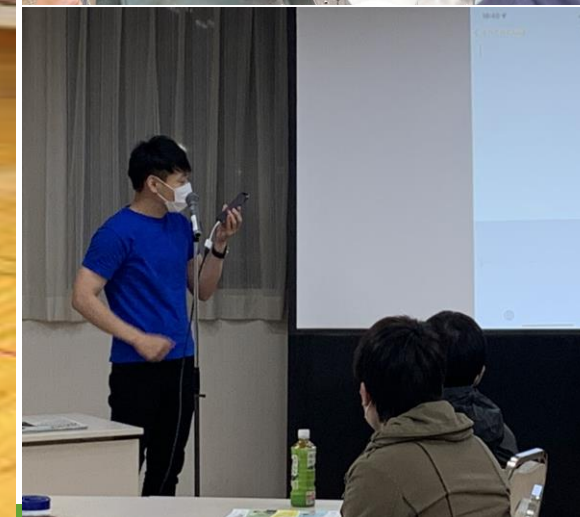
5 人口減少対策の取組例

戦略1 つながる上市



(1) 仲間や恋人との出会いの機会の創出

町民の意識調査の結果を基に共通の趣味を持つ人との出会いの場を提供する「Deai Bar(出会いバー)」を実施。受託事業者の吉本興業から、料理や家電、スポーツ等を得意とする芸人を毎回ゲストに迎え、町外の若者が町へ訪れ地域で交流する場を創った。



5 人口減少対策の取組例

戦略1 つながる上市



(2) 子育て環境を再点検し、支援制度を充実

おおかみこどもプロジェクトで掲げた数値目標(令和7年 合計特殊出生率1.55)の達成を目指し、子育て支援施策の充実を図るため、町の子育て環境を再点検する「子育て環境検討プロジェクト会議」を設置。町内の保育園と小中学校の保護者、先生、看護師、男女共同参画推進員で構成し、女性目線での意見・要望を聴く場を設けた。

第1回会議(令和3年11月)での意見・要望を参考に令和4年度の子育て支援関係の事業を充実させ、第2回会議(令和4年3月)で委員へ報告した。



5 人口減少対策の取組例

戦略2 にぎわう上市



(3) 山林資源を活用した中山間地の所得向上と雇用拡大



5 人口減少対策の取組例

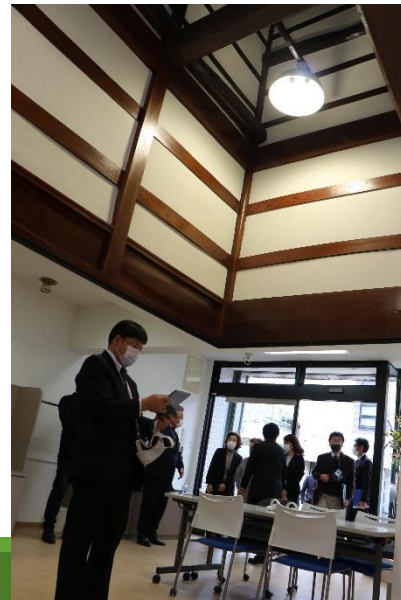
戦略2 にぎわう上市



(4) 空き家、空き店舗を活用したサテライトオフィス誘致

町内で空き家の利活用促進に取り組む有志団体「空き家再生プロジェクト」の協力を得て誘致活動を展開し、中心市街地の空き店舗に町で第1号のサテライトオフィスが開設。

富山信用金庫が上市営業部ビルの最上階部分をサテライトオフィススペースを整備し、官民協働の誘致活動で2社がサテライトオフィスを開設。



5 人口減少対策の取組例

戦略3 ささえあう上市



(5) かみいち総合病院を守るための地域ぐるみの取組

令和元年9月に厚生労働省が発表した「再編統合について特に議論が必要」とされた公立・公的病院のリストにかみいち総合病院が含まれたことを受け、本病院を守るためのプロジェクトを始動させ、これまで町民を始めとした大勢の方々から支援をいただいている。

■ がんばるかみいち総合病院応援寄附金

令和2年度 139件 25,305,620円

令和3年度 68件 14,188,655円 (R4.3.30現在)



5 人口減少対策の取組例

戦略3 ささえあう上市



(6) 上市高校を守るための地域社会と密着した活動

■ 上市高校キャリア教育

上市町、上市高校と町内中小企業有志が組織する「ハッピー上市会」が連携し、職場見学やインターンシップ等を行い、生徒の「働く」ことへの意識を高め、能動的な進路選択につなげる取組。
また、高校生の地域貢献活動を支援し、生徒がまちへの愛着を深めてもらう機会としている。

1年（全員）

上市町を知る
職業を知る会、職場見学会



2年（就職希望者）

上市町を体験する
職業を知る会、インターンシップ



3年（就職希望者）

上市町に貢献する
職業を知る会



おおかみこどもプロジェクト



注目 !! 令和4年度事業



上市町 × 福短・国際観光学科企画提案

令和3年度 若者交流イベント



令和2年度 企画提案

Falling LOVE
～あのトキメキを上市町でもう一度～

富山福祉短期大学 国際観光学科 1年
カワウソチーム

高野 和
松村 このは
村田 のんの

まとめ

上市町は自然と距離が縮まる場所

”愛の聖地”である

もう一度恋人に、上市町に

Falling Love



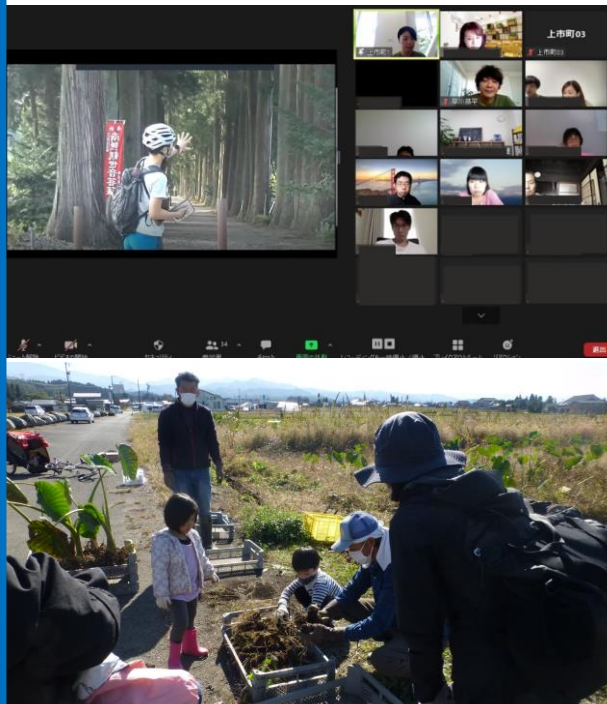
令和4年度 恋活支援事業

マッチングイベントを開催するだけでなく、カップルを対象としたデートイベントの開催や交際に関するお悩み相談窓口を設置するなど、交際当初の不安定な時期をサポートする。



上市町 × 福短・国際観光学科企画提案

令和3年度 上市暮らし体感ツアー



令和3年度 企画提案

上市町で行う ワーキングホリデーの提案

麒麟です。：岩坂・高田・広岡



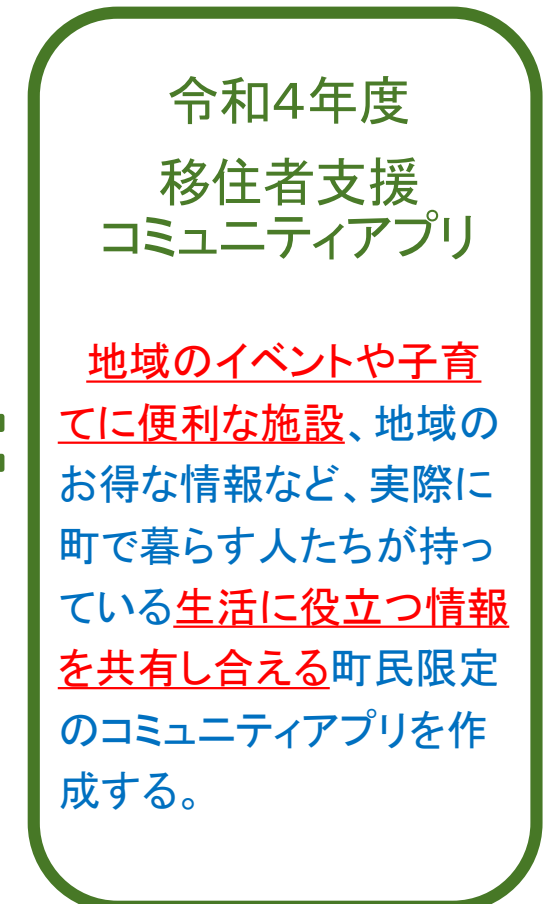
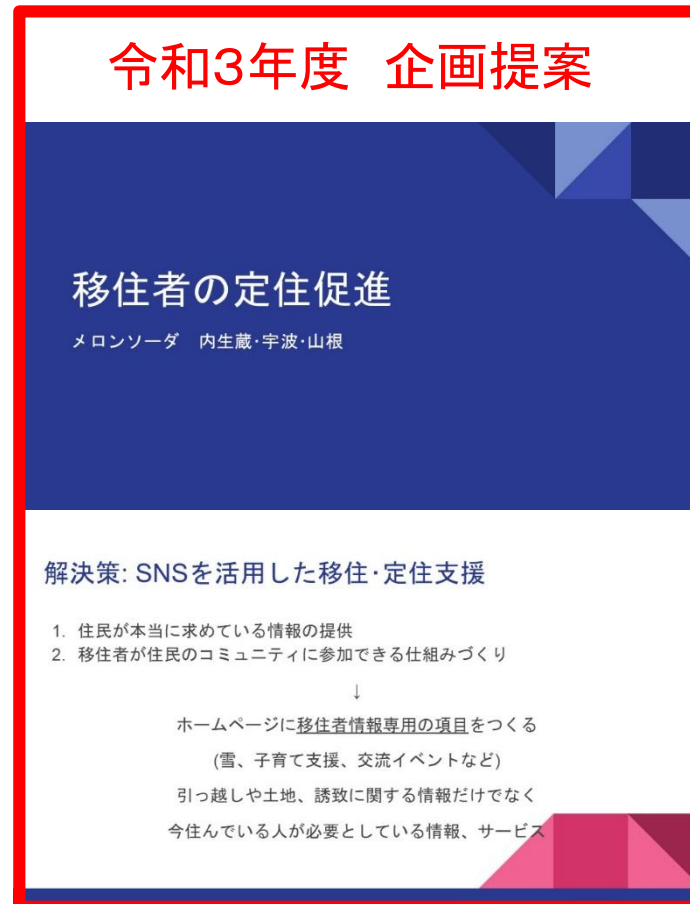
令和4年度

上市暮らし体感 インターンシップツアー

町に一定期間滞在して
町内事業者の仕事の手
伝いやまちづくり活動へ
のボランティア参加などを
行い、地方で働く意義を
認識してもらうとともに、
町とツアー参加者との関
係性を深める。



上市町 × 福短・国際観光学科企画提案



おおかみこどもプロジェクト



6 富山コミュニティー論での取組

6 富山コミュニティ論での取組

令和4年度の取組のポイント

- ① 地域資源 × ミライ技術で地域活性化！
- ② 全国、世界へ町の魅力を発信！
- ③ 地域とつながる関係人口の拡大！

6 富山コミュニティ論での取組

戦略2 にぎわう上市



【福短の取組紹介】ミライの種イベントへの出展

地域で「ミライへ種をまく」活動に取り組む町内の事業者、団体、住民が一堂に会し、互いの活動への理解を深め、新たな連携を生み出すとともに、取組にかける想いやメッセージを全国へ強く発信するイベント

種(たね)地区の休校となつている小学校グラウンドを会場とし、町民自身が改めて地域課題に向き合い、関心を深め、「おおかみこどもプロジェクト」へ参画するきっかけをつくる

- 時期 小中学校の夏休み期間中
- 期間 2日間のイベント
- 会場 種地区内
(メイン会場：白萩南部小学校グラウンド)

出会い創出・
子育て支援

つながるブース

〈若者交流〉 Deai Bar (吉本興業お笑いライブ)
〈自然体験〉 プレーパーク、トレッキング、森林浴
〈ふるさと学習〉 民具等展示 (小学校内)

ささえあうブース

〈まちづくり活動〉 上市暮らしインターンシップ
(イベントボランティア)
〈健康増進〉 地域住民による郷土料理教室

種宿での
移住体験促進

にぎわうブース

〈上市ブランド商品モニター調査〉・上市クラフトビール
・メンマ・アロマオイル・リンドウ酵母パン 等
〈体験プログラム商品モニター調査〉・アロマクラフト
・チェーンソー体験・DIY講座
〈産直〉・生産者による地場産品の販売(野菜・米等)
〈地域おこし協力隊〉・住民への活動報告会・隊員募集

〈サテライトオフィス視察ツアー〉
・首都圏企業と地域住民との交流会
〈首都圏レストランシェフ産地視察ツアー〉
・生産者との交流、特産品活用アイデアレシピ試食会
〈ICT活用イベント〉・移住オンラインイベント
・ECサイト特産品市場

ふるさと親自公園
キャンプ場活用促進

ECサイトでの
特産品販売拡大

町外へ情報発信
・移住PR

ご清聴、ありがとうございました

つながる にぎわう ささえあう

すべては 私 と ミライ のために

みんなが主役のまち 上市



上市町企画課

「おおかみこどもの雨と雪」10周年イベントでの取組

グループワーク

上市町企画課

科目名： 富山コミュニティー論				担当教員 氏名： 鷹西 恒、米田 晶、齋藤 望					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考			
1	2年次	前期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っている		各担当教員の実務経験を活かして、学生が地域の福祉的課題に実践的に取り組めるよう指導・助言を行う							
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード			
地域づくりかえ学で学んだことに基づき、地域の課題について、より実践的に学びを深め、本学の教育目標である、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高めるのが目標である。ゼミ形式で専任教員が小グループを担当し、地域の課題解決に向けた活動を体験する。また、体験をまとめ、学内で報告する。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践 躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		2・3・5・7・8・10				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	30 %	発表：	30 %	実技試験：	%	その他：	40 %
特記事項：									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容	学習に必要な時間(分)		
①【学科全体】学修の進め方、地域調査の基本について、地域社会に生きる「私」をつくる						【予習】シラバスの確認	30分		
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①						【予習】計画書の作り方を調べる	30分		
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②						【予習】計画書の作り方を調べる	30分		
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる③						【予習】計画書の作り方を調べる	30分		
⑤【AD】連携期間との打合せ						【予習】計画書の確認	60分		
⑥【AD】調査計画の修正						【予習】計画書の確認	60分		
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①						【予習】計画書の確認と準備	60分		
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②						【予習】計画書の確認と準備	60分		
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③						【予習】計画書の確認と準備	60分		
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④						【予習】計画書の確認と準備	60分		
⑪【AD】地域課題の解決策の検討						【予習】フィールドワークまとめ	60分		
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)						【予習】発表準備	60分		
⑬【AD】学習成果のまとめ①						【予習】報告書の書き方を調べる	60分		
⑭【AD】学習成果のまとめ②						【予習】報告書の書き方を調べる	60分		
⑮【学科全体】学習成果報告会						【予習】発表準備 【復習】レポート作成	120分		
使用テキスト：						その他参考文献など： 佐藤郁哉：フィールドワークの技法－問を育てる、仮説をきたえる。			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 「地域づくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指す。									